



足柄時代劇 「富士に映える陽」公演

◆日時：平成21年2月21日(土)

昼の部 13:00開場・14:00開演
夜の部 18:00開場・19:00開演

- ◆場所：南足柄市文化会館大ホール
- ◆主催：足柄時代劇実行委員会
- ◆共催：文化庁
- ◆チケット：一般 1,500円／中学生以下：500円
(全席指定・税込み)
- ◆問い合わせ：生涯学習課 ☎82-5221



公演は
2月21日
**いよいよ本番、稽古にも
熱が入ります**
～酒匂川治水の歴史を後世に伝える足柄時代劇～



酒匂川は、私たちのふるさと足柄平野に豊かな恵みをもたらす一方、たび重なる氾濫によって、住まいや農地ばかりでなく、多くの尊い人命を奪いました。足柄平野に暮らす人びとの歴史は、酒匂川の治水に取り組んできた歴史でした。なかでも、301年前の宝永4年(1707年)11月23日(現在の12月16日)から活動が始まった富士山の宝永大噴火は、この地域に大量の火山灰を降らせただけでなく、翌年6月には大口土手(現南足柄市内)の決壊、大洪水という二重の災害をもたらしました。当時の人びとは、こうした苦難に正面から立ち向かい、ともに助け合い、励ましあって地域の復興を実現してきました。今日の豊かで平穏な暮らしが、こうした先人たちの努力と知恵により築かれてきたことを学び、次の世代に引き継いでいくことは、現在の私たちのたいせつな仕事のひとつです。

酒匂川治水の歴史

足柄時代劇の公演

足柄時代劇は、郷土に生きた人びとの姿を後世に伝承していくとともに、地域における芸術文化活動の活性化を図る事業として、一般のかたがたを中心とした劇団員による公演として実施されます。なお、この劇は、平成20年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業の認可を受けて行われます。

伊豆の国市葦山時代劇場付属劇団「いず夢」プロフィール

座長の藤田弓子さん、脚本家の河野洋さんを指導者として平成11年、当時の葦山町(現在の伊豆の国市)の劇団として設立。アマチュア劇団として地域に根ざした活動を基本とし、伊豆地区の芸術文化振興とまちづくりの諸活動を展開しています。



備えあれば憂いなし 家庭で役立つ防災情報



No.9

毎年のように国内外で甚大な被害となる自然災害が発生し、憂慮する事態です。自然災害を防ぐことは困難でも、日ごろの取り組みで大きな被害を抑える手段はあります。毎年夏には、防災の日(9月1日)を中心に、あらかじめ想定したシナリオで動く実働型訓練を町内全域で実施しています。この訓練は地域の災害対策に高い効果があります。

さらに新たな提案として、図上訓練も行つてはどうかでしょうか。

町役場では、今月4回に分けて全職員で図上訓練を行います。冬の休日夕方に大地震が起きた設定です。役場本部が混乱状態のなかで、発災後4時間以内に行うべき初動の対応を、想定しながら習得する訓練です。町防災計画では、それ

ぞれに任務が定められていますが、発災直後は、役割以外に想定されない優先的に行うべき事態が数多く起こります。例えば、「人を助けるため救助隊が到着」「同時に火事が多発」「消防隊の到着を待たずに救助隊が消火」などです。非常事態の初動的な対応として、役割以外の行動をする必要があるからです。まして一同がそろわない休日となれば、混乱状態を抑制するためにも、早い処置が求められる、これらの対応方法を習得するため行うものです。訓練では、戸惑いや四苦八苦するような場面もありますが、これがよい経験として生かれます。

これまで多くの自治会の皆さんには、私の防災講座を熱心に聞いていただきましたが、いかがだったでしょうか。

危機管理担当 小嶋 吉治

環境防災課 ☎84-0314

